



1923 [大正12] 年8月8日
東岡崎駅開業



1958 [昭和33] 年7月19日
東岡崎駅 新駅舎完成 駅施設と
バスターミナルとの直結完成



1967 [昭和42] 年
岡ビル3階建てに



2013 [平成25] 年
東改札口設置

東岡崎駅の歴史

History of Higashi-Okazaki Station

東岡崎駅交通施設整備事業について

1 バリアフリー化設備工事

[橋上駅化によるバリアフリー]

事業主体 名古屋鉄道(株) | 施行主体 名古屋鉄道(株) | 整備期間 H21.12- H22.12 | 事業費 565,577 千円 (補助金: 国補助 = 188,525 千円 [1/3] / 市補助 = 188,525 千円 [1/3]) | 整備内容 建築面積 47.32 ㎡ (1F: 27.94 ㎡ / 2F: 0 ㎡ / 3F: 19.38 ㎡) | エレベーター 2 基、多機能トイレ 1 基

2 0.5 期工事 | 東改札交通広場

・バリアフリー化設備工事と一体的に施行

[東改札口設置に向けた先行工事(暫定バリアフリー対応含む)]

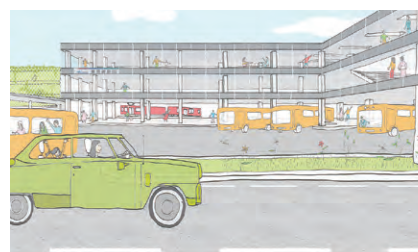
事業主体 岡崎市・名古屋鉄道(株) | 施行主体 名古屋鉄道(株) | 整備期間 H22.4- H22.12 | 事業費 249,952 千円 (負担割合: 岡崎市 = 229,049 千円 [91.64%] / 名古屋鉄道(株) = 20,903 千円 [8.36%]) | 整備内容 建築面積 579.28 ㎡ (1F: 99.92 ㎡ / 2F: 114.35 ㎡ / 3F: 365.01 ㎡) | エレベーター 1 基、仮設階段 1 カ所、仮設改札口 1 カ所

3 第1期工事 | 東改札口設置

[橋上駅化による東改札口設置と駅舎のバリアフリー化対応]

事業主体 岡崎市・名古屋鉄道(株) | 施行主体 名古屋鉄道(株) | 整備期間 H23年度- H24年度 | 事業費 1,882,340 千円 (負担割合: 岡崎市 = 1,804,598 千円 [95.87%] / 名古屋鉄道(株) = 77,742 千円 [4.13%]) | 整備内容 東改札口 建築面積 1,499.00 ㎡ (1F: 340.92 ㎡ / 2F: 305.09 ㎡ / 3F: 852.99 ㎡) | エスカレーター 4 基、階段 3 カ所、改札口 1 カ所、旅客用トイレ男女各 1 カ所

これからの東岡崎駅



【駅舎】

中核市岡崎の玄関口にふさわしい、開放感のあるアクセシビリティの高い橋上駅舎を名古屋鉄道株式会社と連携し整備します。

駅利用者の利便性を考慮し、現在地下にある西側改札口を橋上に改め、東改札口と併せ東西 2 箇所の橋上改札口を有する橋上駅舎とします。

【自由通路】

橋上改札とつながり、北口と南口を 24 時間往来可能な通路を整備します。



【にぎわい広場】

サービス機能・防災機能だけでなく、良好な景観形成に配慮し、周辺地域の活性化や待合のできる「集い・憩い・にぎわい・交流」をテーマにした広場空間をビル内部に整備します。

【駅ビル】

バリアフリー化を促進し、観光案内所等の公共サービス機能を整備します。

【立体横断施設】

駅の橋上化に合わせ、駅前道路を跨ぐ、屋根付きの立体横断施設を整備します。



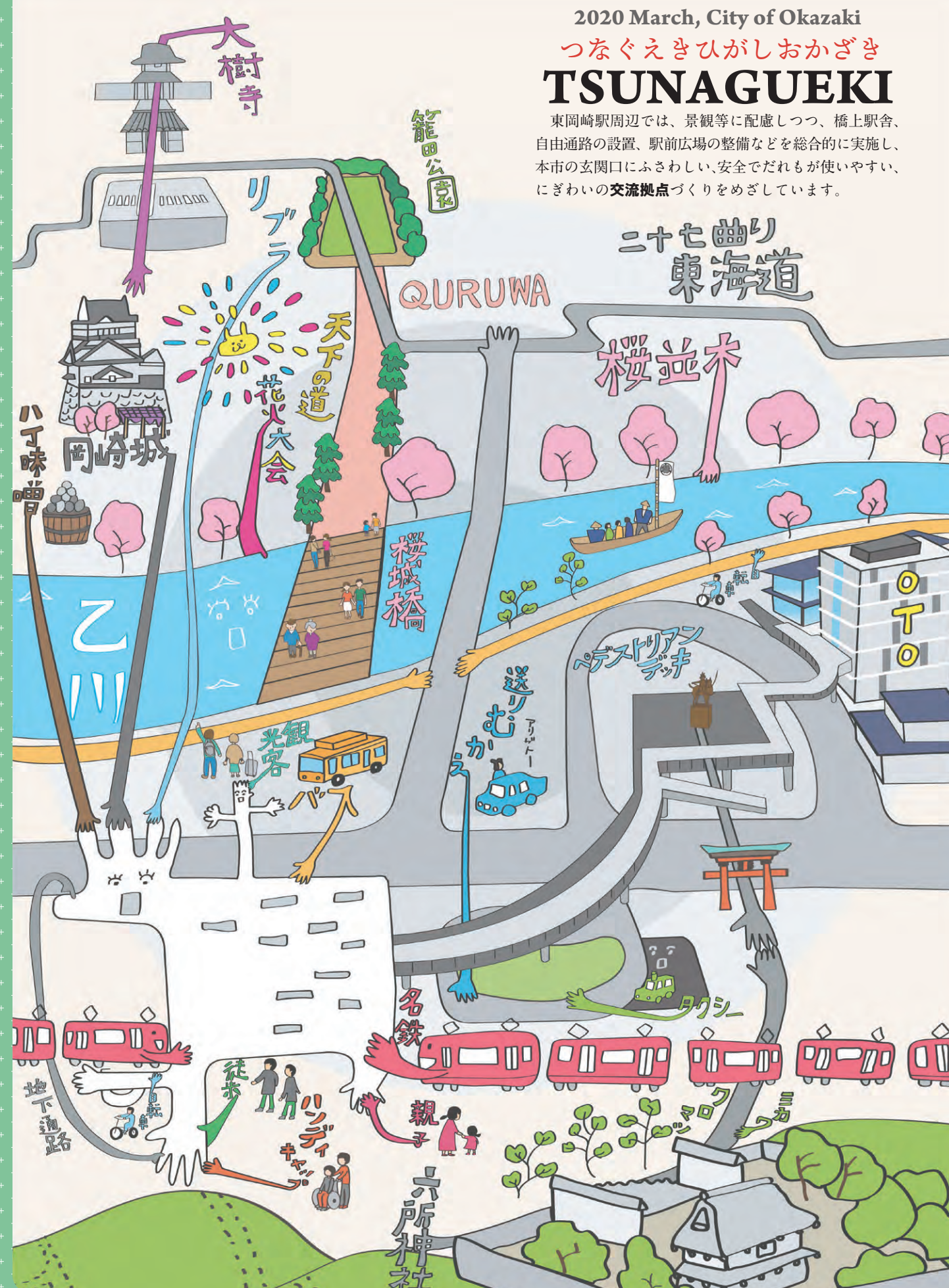
東岡崎駅周辺地区整備事業

2020 March, City of Okazaki

つなぐえきひがしおかざき

TSUNAGUEKI

東岡崎駅周辺では、景観等に配慮しつつ、橋上駅舎、自由通路の設置、駅前広場の整備などを総合的に実施し、本市の玄関口にふさわしい、安全でだれもが使いやすい、にぎわいの交流拠点づくりをめざしています。

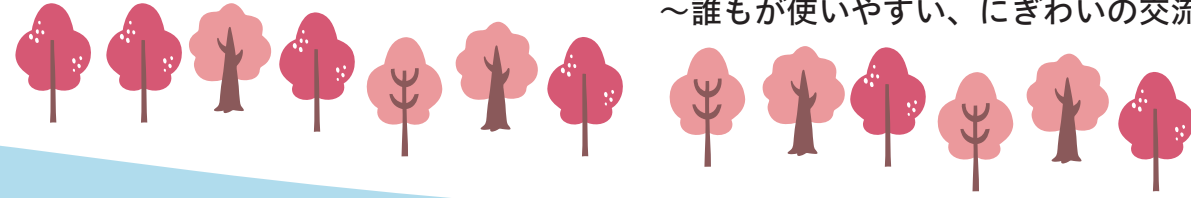


つなぐえきひがしおかざき「TSUNAGUEKI」東岡崎駅周辺地区整備事業「〇二〇年三月発行」
発行 岡崎市都市整備部/拠点整備課/愛知県岡崎市十王町二丁目九番地/Tel:0564-23-6432/Fax:0564-23-6535

東岡崎駅周辺地区整備事業 TSUNAGUEKI

つながえきひがしおかざき

～誰もが使いやすい、にぎわいの交流拠点～



東岡崎駅ペデストリアンデッキ

東岡崎駅東改札口から乙川河川緑地へとつながる歩行用のデッキを整備しました。駅から明大寺交通広場、オトリバーサイドテラスにも直接往来が可能で、利便性の向上のみならず、駅周辺の空間を広げることにより、周辺道路の渋滞緩和も期待されます。

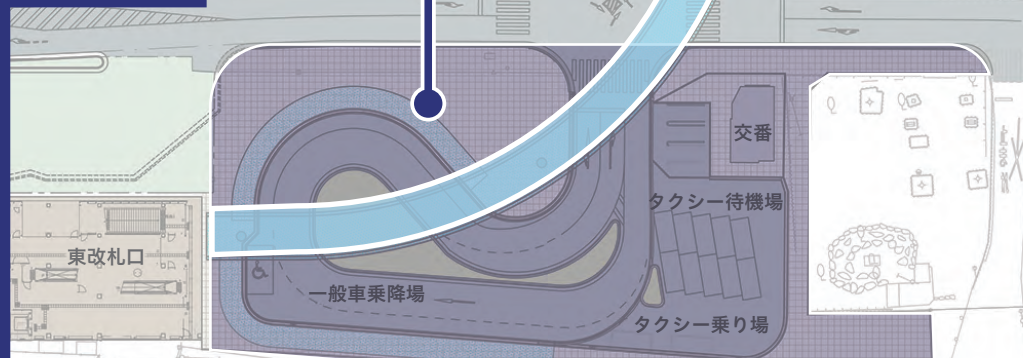
総延長	約170m	総面積:約1,450㎡(階段除く)	上部工形式	鋼床版箱桁橋
有効幅員	5m(通路部)	橋脚11基(鋼製)		桁厚1.3m～1.0m 鋼板10mm
下部工形式	円形鋼製橋脚11本	φ1.2～1.0	エレベーター	1基 エスカレーター2基
	直接基礎10、杭基礎1			階段3箇所
総整備費	約17億3千万円			



東岡崎駅前広場 面積＝約3,000㎡

駅舎の整備に伴い、新たに東口に東岡崎駅前広場を整備し、一般車乗降場・タクシー乗り場及び待機場を刷新することで、駅前の混雑解消を図ります。

〈令和元年度整備〉	一般車乗降場5台	障がい者用乗降場1台
〈将来計画〉	一般車乗降場10台	障がい者用乗降場1台
	タクシー乗り場2台	タクシー待機場10台



明大寺交通広場 面積＝約2,400㎡

東岡崎駅東改札口からペデストリアンデッキで直接往来が可能な明大寺交通広場には、迎え待ちの車両が利用しやすい一般車短時間駐車場を整備するとともに、タクシー待機場、企業・観光バス乗降場を整備し、環境にも配慮したバスライドの利用を促進します。

〈令和元年度整備〉	一般車乗降場5台程度
	障がい者用乗降場1台
	タクシー待機場12台程度
	企業・観光バス乗降場4台程度
〈将来計画〉	一般車短時間駐車場18台程度
	タクシー待機場12台程度
	企業・観光バス乗降場4台程度



北東街区有効活用事業 オトリバーサイドテラス

東岡崎駅の北東にある市有地に事業用定期借地権を設定することにより、民間資本、民間活力を活かした公民連携による、複合施設(オトリバーサイドテラス)が誕生しました。レストラン、カルチャースポット等暮らしを豊かにしてくれるお店が入っています。



家康公ひろば 面積＝約600㎡

岡崎の新しいシンボルとなる、若き日の徳川家康公の騎馬像を設置した広場を、デッキ中ほどに整備します。休憩、待ち合わせはもちろん、イベント等での活用により周辺の賑わいを創出します。

【徳川家康公騎馬像】
全高約9.5m(像約5.3m 台座約4.2m)
製作者 神戸 峰男(かんべ みねお)氏 製作費 約1億2千万円

